

世界に通用する農山漁村

～地域づくりは新たなステージへ～

農山漁村における地域づくりの取組みは、時代や国境を越えた普遍的な価値を持っています。

農山漁村が長い歴史の中で紡いできた地域資源を見つめ直し、

これを活かすことがいまこそ求められています。

世界と直接つながる時代、世界に通じる”本物”を見つけ出し、磨くにはどうすべきか。

地域からの発想と行動による、地域づくりの新たなステージを”外からの目線”を中心に展望します。

2019年 3月9日(土) 13:00～16:45 (開場 12:30) 参加料:無料 定員:250名

全国町村会館 2Fホール 東京都千代田区永田町 1-11-35

基調報告

13:05～13:50 「地域づくりとインバウンド」

現地取材映像放映

ザ・ジャパン・トラベルカンパニー(JTC)株式会社代表取締役 ポール・クリスティ 氏

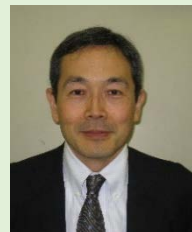
なぜ、大分の谷間で旅行業を営むのか、年間2千人の外国人を引きつける魅力は何か。「地方が秘めた可能性の生きた見本」を企業理念に掲げるJTC流地域づくりの神髄を語る。



13:55～14:40 「欧州の美しい農村をだれが創っているのか
～景観・環境からみた農村の価値～」

学習院女子大学副学長・教授 荘林 幹太郎(しょうばやしみきたろう) 氏

訪れる人々を魅了し、住む人々も誇りを持って守り続ける欧州の農村。駐在経験や政策担当者ととの交流から得た、その意識的な取組を紹介し、日本の農村のあるべき姿を語る。



◎14:40～15:00 休憩

パネルディスカッション

15:00～16:45 「世界に通用する農山漁村」

何が魅力なのか、なぜそこに住み続けるのか。世界に通用する日本の農山漁村の価値について議論し、将来を見据えた新たな地域づくりを展望する。

コーディネーター

●学習院女子大学副学長・教授 荘林 幹太郎 氏

パネリスト

●北海道壮瞥町
移住・情報発信アドバイザー

岡ドルゲ・コジマ 氏

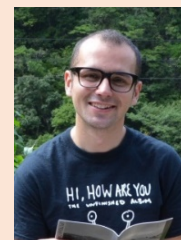
現地取材映像放映



●anaguma 文庫代表
(奈良県川上村)

エリック・マタレーゼ 氏

現地取材映像放映



●ザ・ジャパン・トラベルカンパニー株式会社代表取締役 ポール・クリスティ 氏

【主催】 全国町村会

【協力】 一般財団法人地域活性化センター(申請中) 一般社団法人農山漁村文化協会(農文協)

登壇者プロフィール

●ポール・クリスティ 氏 ザ・ジャパン・トラベルカンパニー株式会社代表取締役

1961年イギリスセント州出身。ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンにて経済学を専攻。ロンドン大学東洋アフリカ研究学院にて日本語を専攻。1987年留学生として初来日。埼玉県川越市にホームステイ。その後、日本経済新聞ヨーロッパ総局勤務(ロンドン)。投資関連会社、IR JAPAN。1992年イギリス最大手の印刷関連会社の日本法人パラップス・ジャパン代表取締役。1995年～2002年 NHK, TBS, テレビ朝日、MSNBC、RKB(福岡)のフリーランスのディレクターおよびプロデューサーとしてドキュメンタリー製作などを担当。1997年 Walk Japan のフリーランス ツアーリーダーとして仕事を始める。2002年大分県国東半島に移住。Walk Japan の役員兼 CEO に就任。2010年 The Japan Travel Company 株式会社を設立。2016年内閣府「クールジャパン・アンバサダー」。2017年「ANA 日本の道 大使」や「ONSEN ガストロノミー アンバサダー」などに数々任命される。

●荘林幹太郎(しょうばやしきたろう) 氏 学習院女子大学副学長・国際交流学部教授

1957年兵庫県出身。東京大学大学院修了。専門は農業政策、農業貿易と環境、農業環境・資源政策論。農林水産省入省後、米国ジョンホプキンス大学留学、世界銀行、OECD食料農業水産局、滋賀県農政水産部技監を経て、2007年より学習院女子大学教授。東日本大震災復興構想会議検討部会委員、今後の環境保全型農業検討委員会委員、全国町村会地域農政未来塾主任講師。著書「農業直接支払いの概念と政策設計」「世界の農業環境政策—先進諸国の実態と分析枠組みの提案」「日本の農業環境政策—持続的な美しい農業・農村を目指して」(共著・農林統計協会)他。

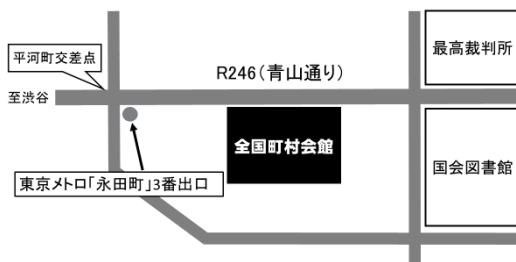
●岡ドルゲ・コジマ 氏 北海道壮瞥町移住・情報発信アドバイザー

ドイツ連邦共和国バーデン・バーデン市出身。ロンドン大学院で日本の文化・社会学の修士を取得し、2008年に北海道伊達市へ移住、スタートアップ企業に就職。その後、札幌のIT企業に就職、バーチャルシンガー初音ミクのグローバルマーケティングマネージャーとして欧米マーケット開拓。2015年から地域おこし協力隊員として壮瞥町へ移住。同町の行政ウェブサイト等のリニューアル、SNS ページの作成や運用、タウンプロモーション事業内でのブランドアイデンティティ作成等に従事、2018年4月より北海道壮瞥町 移住・情報発信アドバイザー(特別職)。内閣府「わくわく地方生活実現会議」委員。

●エリック・マタレーゼ 氏 anaguma 文庫代表

1986年アメリカ・ロサンゼルス出身。高校時代、日本語を勉強して、2004年に千葉県柏市にホームステイ。2009年カリフォルニア大学サンタクルーズ校日本語学科卒業。2011年岐阜県の本巣市でALTとして勤務。2013年同志社大学日文センター別科生。2014年京都市の半導体会社勤務。2016年地域おこし協力隊として奈良県川上村に移住。広報紙「Oide 新聞」を毎月発行、人との触れ合いなど地域の出来事を独自の視点で捉えた魅力を発信し続けている。2018年 anaguma 文庫開業。月刊「ソトコ」2018年8月号より「上流の日々」を連載中。2018年11月より奥大和の暮らしを紹介する「ローカルライフジャーナル」のレポーター。

アクセス



全国町村会館

- 東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分
 - 地下鉄丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩5分
- 東京都千代田区永田町 1-11-35
TEL.03(3581)0471(フロント直通)

お申し込み

申込方法:参加申込書をお送り頂くか、記載内容をメール、Fax 等にて以下までお送りください。

申込締切:2019年3月7日(木)※当日参加も可能ですが事前申込にご協力ください。

申込み先・問い合わせ Mail sympo@zck.or.jp Fax.03-3580-5955

全国町村会経済農林部 Tel.03-3581-0485



氏名・ふりがな	
職業(組織名・学校名等)	
Phone./Fax.	- / -
E-mail	